

平成28年度 第1回 砂川市総合戦略推進委員会

○委員

団体名	役職	氏名	備考
砂川商工会議所	会 頭	其田 勝則	
砂川市町内会連合会	副会長	岡本 昌昭 (欠席)	
砂川観光協会	会 長	石家 裕二	
砂川建設協会	会 長	三土 壽廣	
砂川青年会議所	理事長	池内 一也	
新砂川農業協同組合	専務理事	佐々木 孝一	
砂川金融協会	北洋銀行砂川支店 支店長	満山 俊 (代理：結城)	
砂川市校長会	会 長 (砂川中学校校長)	山崎 優	
砂川地区連合会	会 長	伊藤 達寛	

○市役所

総務部長	熊 崎 一 弘
市民部長	中 村 一 久
経済部長	福 士 勇 治
建設部長	湯 浅 克 己
教育次長	河 原 希 之
市立病院事務局長	氏 家 実
経済部商工労働観光課長	山 下 克 己 (説明員)
経済部商工労働観光課長補佐	岩 淵 真里子 (説明員)

○事務局

総務部政策調整課長	井 上 守
総務部政策調整課長補佐	谷 口 昭 博
総務部政策調整課企画調整係長	谷 地 雄 樹

## 1 開 会

## 2 委嘱書交付

市長より団体代表者の交代があった2名に委嘱書を交付。

## 3 挨拶

市長： 大変お忙しい中、お集まりいただき、大変ありがとうございます。この総合戦略推進委員会、28年に1回開催しておりまして、今回、2回目ということでございまして、この委員会においては、地方創生に基づく地域の活性化、少子化対策、それから、定住化対策でございます。

一昨年から、砂川市の少子化対策として、子育て世代を中心として、かかる経費の軽減ということで、保育所やそれから、幼稚園にかかる経費を大幅に削減しまして、第3子は無料ということで、それは、所得制限を付けないということでやってございますし、市立病院のところには、病児・病後児保育というのを開設いたしまして、病気になっても、働くのをなるべく休まないで続けていける。そういう施設でございますけども、病児までやるのは砂川市だけという状況でございます。

また、定住化対策としては、昨年、財務省の公宅を買い上げまして、改修しまして、1棟4戸でございますけども、4戸も埋まりまして、9名の方が市外から転入してございます。そのうちの2世帯は、子育て世代で、これからまだ子どもを産むという世代でございまして、経費は、国の補助金と過疎債を使って事業をやりましたけども、ほとんど一般財源を使わないでできた事業でございまして、効果はあったというふうに思っておりますけども、いずれにしても、定住化対策については、今度は、空き家対策など、いろいろな方策を用いながら、砂川の人口減少を留めるような方策を今後とも続けていきたい。このように、考えています。

今日の議題の中では、地域の活性化で、2つの新たな事業の提案がございます。十分中身についてご審議いただくことをお願い申し上げまして、開会にあたっての挨拶といたします。

それともう一つ、この資料でございますけども、国の提示しているうちの一つのものでございますから、非常に分かりづらくなってございます。申し訳ありません。事務局の方から、うまく、そのところを分かりやすく説明してくれるものと思いますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

事務局： はい。ありがとうございました。市長におかれましては、公務のため、ここにて退席をいたします。

市長： どうぞ、よろしくお願いをいたします。

**事務局：** それでは、会議に入りたいと思いますが、会議の進行につきましては、委員長のお手元で進行をお願いしたいと思っております。委員長におかれましては、委員長席へご移動をお願いいたします。

(委員長、座席移動)

それでは、会議次第に入ります前に、委員長よりご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくをお願いいたします。

**委員長：** はい。年度末のお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。実は、私が話そうかなということは、先ほど、市長が話したことがほとんどです。

今回がこの推進委員会、2回目の開催です。丁度、昨年3月28日、第1回を開催いたしました。年度内にもう1回位は開催した方がという話もあったのですが、諸般の事情で本日になってしまいましたけれども、その1年の間に、やはり、新たな計画等々追加されたようでございますので、その辺も含めて、我々、総合戦略の推進と、それから、検証というのが大きな点でございますので、皆様のご意見を賜りながら、よりいい方向に進めていくような形で、進めて参りたいと考えておりますので、よろしくご審議の程、お願いいたします。

大変簡単ですが、挨拶に代えます。

**事務局：** はい。ありがとうございます。それでは、委員長よろしくをお願いいたします。

**委員長：** はい。それでは、お手元の資料に従いまして、進めて参りたいと思います。

まず、4番目の報告事項です。「(1)「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」掲載事業の実績等について」ということで、事務局の方から説明願います。

#### **4 報告事項**

##### **(1) 「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」掲載事業の実績等について**

**事務局：** はい。それでは、私の方から説明をさせていただきたいと思います。

平成27年度の総合戦略の実績値ということで、資料の1をご覧ください。

資料1につきましては、平成27年度の実績についての確定値ということで、昨年3月28日に、この総合戦略推進委員会の中で、ご議論いただいた確定値ということでご報告させていただくものでございます。

戦略の中で、「基本目標」というものが4本ほどございまして、それに対する27年度の目標に対する27年度の実績がどうだったのかということで整理してございます。

それが、Ⅰの部分でございまして、Ⅱの部分で、それらを実現するための、個別

の事業の実施、達成状況ということで、平成27年度の目標値に対して、どの程度事業の数値目標が達成されたのかということをもⅡの方で整理していきまして、全体としては、概ね順調に推移しているものと考えているところでございます。

1枚めくっていただきまして、2ページ目をご覧ください。

こちらが、それぞれ基本目標、それを実現するための事業についての、それぞれ、数値目標に対してどの程度の実績だったのかを整理した表でございます。

表の1の下の方、「1)ICTを活用した子どもの育成」というところの「ICT人材育成事業」というものがございまして、ここの吹き出しのところに、見込462と書いてございます。こちらが、昨年3月28日の推進委員会の中で出させていただいた資料がこの数値でございまして、これが、今回、確定して変わったという内容となっております。

1枚めくっていただきまして、3ページ目。基本目標2の部分で、同様に、見込値から、実際の実績値が変わったものについて、吹き出しで示しながら、変わったところの数値も記載しているといった格好になっていきまして、それ以降、同様のよう形で記載しておりますので、中身についてはご後覧いただければというふうに思います。

それでは、続きまして、資料の2をご覧ください。こちらにつきましては、総合戦略を進めるスケジュールと申しますか、管理サイクルでございます。

ことしの4月からの予定としましては、今年の左側の「既存事業」という部分が今後、検証していく中身になるのですが、平成29年4月というところの横に記載してございますけれども、年度が変わりまして4月になりましたら、事業の平成28年度はどうだったのか、数字の確認をさせていただきまして、翌月5月連休明けになるかと思っておりますけれども、この中で、推進委員会の皆様方に内容の検証をしていただくというふうな予定を考えております。

その内容につきまして、それぞれ担当部署等々で事業内容の確認ですとか、変更も含めた中で、様々な事業の構築を進めまして、変更があるかどうかということを確認したうえで、あれば、また再度、総合戦略推進委員会の中で、議論していきたいと思っております。

それから、その右手の方に、「新規追加事業」というものがありまして、この部分につきましては、この後、議論いたしますけれども、新たに総合戦略に追加する事業についての記載というふうな格好になってございまして、今年度、既に、地方創生推進交付金の申請をしております、3月になって、これに付随して必要となる計画、それが、地域再生計画なのですが、その事前相談に申請しているところでございまして、4月になりましたら、本日の議論も踏まえまして、地域再生計画を申請して参りたいと思っております。

それで、平成29年度の事業につきましては、来年の2月頃に実績の見込み等を整理いたしまして、ご検証いただきたいというふうに考えてございます。

以上、掲載事業の実績等についての説明に代えさせていただきます。

**委員長：** はい。今、報告がございましたけども、資料1につきましては、平成27年度の実績ということでございまして、もうすぐ28年度終わりますが、28年度については、今年の手定では、5月連休明けくらいには、整理した中で、28年度実績につきましては検証をお願いしたいということでございます。

今の説明でございしますが、何かご質問、確認したいことはございますか？

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** それでは、5番目の協議事項に早速入りたいと思います。協議事項の1番目です。『地方創生推進交付金申請事業及び「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画変更等について』ということでございます。そのまず、アの「ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業について」ということで、新しい事業として出ております。それについて、説明をお願いいたします。

## 5 協議事項

### (1) 地方創生推進交付金申請事業及び「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画変更等について

#### ア ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業について

**説明員：** それでは、説明させていただきます。はじめに、『ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業について』になります。資料の3の方をご覧くださいと思います。

まず、本事業を行うに至った経過ですが、本年41社の企業を訪問し、聞き取り調査による実態調査を行って参りました。

その結果、従業員を雇っても、すぐ辞めてしまうなどの人材不足や人材定着に悩みを抱えながらも、人材育成になかなか取組めない企業の現状が見えて参りました。また、今年、実施いたしましたジョブスタート事業では、保護者や生徒に砂川の企業を知ってもらい、働く意義を考える機会を提供するため、若手従業員と高校1年生の交流や企業の紹介などを行い、生徒や高校、企業から大変好評をいただきながら、大きな成果を得たところでございます。

次に、課題といたしましては、企業に応じた課題を解決するためには、専門的な知識を持った人材の派遣を行う必要があるということから、また、高校生や学校に限らず、地域住民の皆さんも地元企業の名前は知っているけども、どんな企業なのか、どんな仕事をするのかということを知らないという声も聞こえてきました。

そして、働くことをイメージできないまま、就職してしまい、早期退職につながる若者が多いということ課題と捉えております。

課題を解決するための事業概要については、一つ目は、ジョブスタ応援企業の新規登録制度を行います。これは、若者の採用や人材育成、定着に向けた積極的な企業を対象

に、砂川市が認定基準を設け、ジョブスタ応援企業として登録する制度となります。

次に、問題に応じた専門員の派遣につきましては、北海道働き方改革支援センターや北海道よろず拠点などから、専門員の派遣を予定しているところです。

企業の魅力発信では、ジョブスタ応援企業、また、若手従業員の方々が制作に関わり、企業の仕事内容やそこで働く従業員の魅力などを紹介する冊子、それと、従業員のインタビューや仕事をしている様子などを紹介する動画を作成し、小中学校、高校生、大学生などへの配布をしたり、SNSを使った配信を行う予定であります。

企業の人づくりゼミナールにつきましては、企業の後継者や若手経営者などを対象に、3か年間継続して行って参ります。各回の合間に各企業で実践、事業の検証を行いながら、実践的なものとしていき、最後の回は公開学習として、講話やゼミナール企業の啓発を実践しながら、ジョブスタ応援企業の活動周知、また、認定企業の増加促進を図って参ります。

本年度も行いましたジョブスタート事業ですけれども、高校1年生を対象に若手従業員との交流や職場紹介を行い、ジョブスタIN砂川高校、また、2年生を対象にしたインターンシップの要素を取り入れながら、若手従業員から仕事を教わり、実際に仕事を体験するアルバイト体験、3年生を対象に、若手従業員からの職場紹介や交流、人事担当者との相談などを行う企業と就職希望者とのマッチング事業を予定しております。

いずれの事業も、札幌圏の大学などと連携しながら、大学生の参加を加えて、実施したいと考えているところです。

将来像としましては、これらの事業を実施することで、人材育成ネットワークを確立させ、企業内の人材育成を推進させながら、優秀な人材の確保や定着、若手従業員から企業の魅力を発信するなど、高校生や保護者における地元企業の知名度を高め、地元企業を知らずに市外へ流出してしまうなどのミスマッチや早期退職の解消を目指すところでございます。

最終的な目指す姿は、企業の人材育成や定着が進み、成果を上げることで、企業の生産性を上げ、雇用創出を図り、企業の稼ぐ力を向上させ、地域経済の発展に繋げていきたいと考えております。

本事業の実施主体は、雇用創出協議会と若者部会となり、行政は体制作りの下支えを担って参りたいと考えております。

次のページをお開きください。

実施主体となる若者部会と雇用創出協議会についてご説明いたします。

若者部会は、地元企業の若手従業員、砂川高校の高校生、札幌圏の大学生などを会員に、働くことの意義を考えたり、地元企業を知る機会を提供したりするジョブスタート事業の企画運営を行って参ります。会員を対象にワークショップを行い、仲間づくりを進めながら、事業のビジョンやミッションを話し合い、共通理解のもと、事業を進めて参ります。

そして、若手従業員から学生に、地元企業の魅力や仕事の厳しさや、やり甲斐などを発信することで、学生に働く意義を考える機会の提供を行うとともに、若手従業員の研

修の場となるような事業として参ります。これらの若者の意見を受けて、事業を実施する主体が雇用創出推進協議会となります。

会員として現在予定しているのは、ジョブスタ応援企業、商工会議所、青年会議所、建設協会、金融機関、ハローワーク、砂川高校、PTA連合会などを予定しているところです。若者部会が企画運営を協議し、雇用創出協議会が事業を主催し、実施するという流れとなっております。

人材育成ネットワークの構築の支援や広報・啓発活動の推進、本事業を推進することで雇用創出が推進されることを検証し、雇用創出協議会の実績や信頼を得ることで、事業の趣旨に賛同する企業からの協賛金を集め、3か年で自主運営ができる体制づくりを目指し、市は、講師にかかる経費の一部負担などをしながら、事業を支援していきたいと考えております。

次ページをお開きください。

本事業は3か年の事業となっております。各年度の詳細を記載した表となっておりますが、1年目、2年目、3年目と内容をパワーアップさせたもので考えてございます。

表の右側のジョブスタート事業について補足させていただきます。この事業は、28年度より始めた事業であります。29年度より、パワーアップした内容で実施し、1年生、2年生、3年生と継続した支援を行ってまいります。

ここには記載されておませんが、本年度、28年度のジョブスタート事業に参加した1年生についても、現在、砂川高校がすでに実施しております2年生を対象にしたインターンシップや3年生を対象にした企業合同説明会など、ジョブスタ応援企業や若手従業員、高校と連携しながら、充実を図って参りたいと考えております。

次の4ページが地方創生推進交付金の申請書の様式となっております。こちらの概要は、今ほどご説明した内容となっておりますので、後ほどご覧になっていただければと思います。5ページ目をお開きいただきたいと思っております。5ページの上の方に、④交付対象事業の重要業績評価指数、KPIというものがございます。こちらにつきましては、2つほど指標を挙げてございまして、1つは、市内の就職人数の増加です。平成27年度の実績では、409人が新たに就職した人数となっております。こちらは、ハローワークからのデータで数字を拾っているところです。3か年で450人に数字を伸ばしたいと考えております。

もう一つの指標は、地元高校から市内企業に就職した割合ということで、平成27年度の実績では20.4%となっております。こちらも3か年で65.4%へ増加を図りたいと考えております。本事業の説明は以上となります。どうぞ、よろしく申し上げます。

**委員長：** はい。ただ今、説明がございました「ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業」ということで、説明がございましたが、今年度、ジョブスタ1回目をやって、かなり、好評だったという話を聞いていますけれども、発展的な事業の推進だと思います。

今の説明で、何かご意見、ご質問があれば、承りたいと思っておりますけれども。

各委員：(特に発言なし)

委員長： なかなか、難しい事業だと思いますので、3か年、29・30・31の3か年と  
いうことですね？

特に、質問はありませんか？

各委員：(特に発言なし)

委員長： これは、交付金の対象になっているのですよね？

説明員： はい

委員長： ですから、この事業については、採択してこのとおりに進めて参りたいと思  
いますけども、委員の皆さんよろしいでしょうか？異議ございませんか？

各委員： なし(または、頷く)

委員長： はい、ありがとうございます。こういった形で『ワーク・ライフ・バランス  
とキャリアデザインの推進による雇用創出事業』は進めていくという形になりました。  
た。

次に、この『ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興について』とい  
うことで、事業が出てございます。資料4の説明をお願いします。

## この『ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興について』

説明員： はい。『ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興』について  
ご説明申し上げます。資料の4をご覧くださいと思います

まず、この事業を実施するに至った背景ですけども、平成14年の5月に、お菓子でま  
ちを元気にしようと、官民協働で「すながわスイーツロード協議会」が設立されました。  
皆さんもご存知のとおり、様々な活動を担っていただいております。また、27年の  
12月に「すながわスイーツ」で、道内第1号のふるさと名物応援宣言を行って参りまし  
た。

本年度1月には、中小企業基盤整備機構より講師を招き、スイーツロード協議会や青  
年会議所、クリエイター、女性グループ、地域おこし協力隊、観光協会、行政職員など  
の33名が集まり、勉強会を開催し、地域資源を活用したまちづくりについて、講演やグ  
ループワークを通じて、観光振興の取り組みの機運を高めてきたところでございます。



次に、課題といたしましては、砂川市は毎年、200名以上の人口減が進んでおり、商店の閉店も顕著でありながら、特に、中心市街地の活性化が求められてきています。また、砂川市の平成27年度観光入込客数は、前年度比、6.9%減の126.7万人となっていることから、砂川の魅力を十分に紹介する観光コンテンツの発掘が急務であると捉えております。

これらの課題を解決するための事業概要としては、まずは、観光コンセプトの策定です。今年度に引き続き、中小企業基盤整備機構より講師をお招きし、砂川の観光を考える勉強会を官民協働で開催し、地域資源の掘り起しを行い、砂川の観光コンセプトを策定して参ります。

また、広域観光DMOの設立に向けて、近隣市町と連携し、各市町の観光コンセプトやブランド力を融合させた魅力的な広域観光の取り組みの検討により、中空知広域観光DMO設立を目指して参ります。

次に、スイーツ応援団の設定です。スイートロード協議会を応援してくれる組織、団体、個人を「スイーツ応援団」として設定し、協議会と連携した事業を実施して参りたいと思っております。

次に、観光コンテンツの発掘です。砂川市には、「1万円選書」で有名な、書店さんがありますので、その書店さんと融合しながら、札幌圏の若い女性をターゲットにした「1万円女子旅」を旅行会社と連携し、実施する計画を進めて参ります。お客様に「旅カルテ」の記入をお願いしながら、個人のニーズに合ったプレミアムな1万円女子旅を提供できるように、若い女性を中心としたワーキンググループをつくり、観光の専門家を講師に招きながら、おもてなし観光ワークショップを開催し、観光コンテンツの発掘を図って参ります。

また、本年度は自転車の購入や義士衣装の購入を予定しておりますので、これらの活用も検討して参ります。

次に、スイーツのレシピ開発です。こちらは、フードコーディネーター、高校生、農業者、スイーツ応援団、カフェ経営者などと連携をしながら、若い女性をターゲットに、美と健康、また、見た目の「かわいい」というものをテーマとしたスイーツの新商品のレシピを作って参りたいと考えております。

インバウンド事業については、昨年、インバウンド受け入れ協議会が設立され、台湾の人気ブロガーを招き、台湾観光客をターゲットとした魅力ある旅行商品の開発など、インバウンド事業の実施を行うため、市は補助金を支出し、活動を支援して参ります。

将来像としては、地域資源の掘り起こしや観光コンセプトの策定、おもてなし観光のあり方など、官民協働でのスイートなまちづくりを推進して参ります。地域が一体となり、ふるさと名物となるスイーツを開発することで、ストーリー性のある商品としてPRし、まちの連帯感を高めるとともに、スイートロード協議会のブランド力を高め、砂川の魅力を発信して参ります。

また、中空知広域観光DMOの設立を目指し、通過型観光から滞在型観光へと移行を参りたいと考えております。

最終的な目指す姿は、観光客を呼び込み、稼ぐ力を向上させ、地域経済の発展に繋がっていきたくと考えております。

本事業の実施主体は、スイートロード協議会となり、スイートロード協議会には、商工会議所や観光協会など、様々な団体が加入をしております。各団体と連携を図りながら、事業を推進して参りたいと考えております。行政は体制づくりの下支えの役割を担って参ります。

次ページをお開きください。

本事業の実施主体となるスイートロード協議会について説明をいたします。

協議会の目的は、「スイート」の意味する「心地よい」、「うれしい」、「美しい」などをイメージし、お菓子の魅力に、様々な地域資源の活用をプラスして、観光客にも住民にも、心地よいスイートなまちづくりを進め、まちのイメージアップを図り、交流人口の創出を目指したいと思っております。

組織としては、会員に現在加入していただいております商工会議所、観光協会、商店会連合会、消費者協会、ネイパル砂川、菓子組合、農業団体、ボランティア団体など、様々な団体が加入しており、各団体と連携した事業展開を行っているところです。

また、新設するスイーツ応援団には、インバウンド受け入れ協議会やクリエイター、女性団体などを想定しており、スイートロード協議会の事業への協力やスイーツ応援団の事業を協議会が応援するという、相互に応援する体制を構築して参りたいと考えております。組織は、実際に動く人、やりたい人がやるような体制を構築して参りたいと考えております。

次に、収益事業の実施ですが、ふるさと納税の返礼品の請負業務については、29年度より、市と検討を行いながら、30年度より、実施を目指すところでございます。返礼品については、例えば、お菓子屋と雑貨などの商品を組み合わせるなど、魅力あるセット商品を開発していきたくと考えております。

また、請負に係る収益につきましては、パソコンの保守点検などの経費に充てる予定となっております。

また、現在は、オアシスパーク周辺で無料で行っている、サイクリング事業をスイートロード巡りなど、まちの散策に、有料で自転車を貸し出し、その収益で自転車の保守点検費用などの経費に充ていく予定となっております。また、スイートロード協議会のホームページや広報誌などを活用し、企業の宣伝広告を行い、協賛金を募ることも考えております。現在、既に、スイーツフェスタなどで、広告宣伝をさせていただき、協賛金をいただいているものがございますが、更にパワーアップして推進していきたくと考えております。

次に、ネットショッピングの運営についてです。新商品として開発された商品の販売やふるさと納税の返礼品と同様に、お菓子と雑貨などの組み合わせなどを商品化し、販売を検討して参りたいと考えております。これらの収益事業で少しずつ自立を目指していきますが、官民協働の意味合いからも、観光全般に渡る広報宣伝費や講師の謝礼などは市が負担させていただき、事業に係る経費の一部は、従来どおり市からの補助金とい

うことで対応して参りたいと考えています。また、本事業には、今年度、新たに2名、地域おこし協力隊を、雇う予定でおります。地域おこし協力隊の任期が満了となる3年後に、起業していけるような体制を整備していきたいと考えています。

次ページをお開きください。本事業は3か年事業となっておりますので、各年度の詳細を記載した表となっております。特に、右側のスイーツ応援団、1万円女子旅、スイーツのレシピ開発、インバウンド等については、おもてなし観光ワークショップを行いながら、1年目は検討・下地づくり、2年目は実践、3年目は自走に向けた推進の取り組みという形で進めて参りたいと考えております。

次に、4ページ目をお開きください。「スイートなまちづくり」ということを目標におきながら、スイートロード協議会の組織図をこのような形で載せさせていただいております。スイートロード協議会には企画部会、フェスタ部会、PR部会が、現在もごございます。その下に、新たに、スイーツ応援団という形で、様々な団体や個人の方に入ってください、相互に連携して参りたいと考えております。その下に、商工会議所、観光協会、砂川市でそれらの事業の下支えとして連携しながら事業を進めたいと考えております。また、広域観光DMOなども連携しながら、事業推進を検討して参りたいと考えております。

次に、5ページお開きください。こちらが平成29年度の地方創生推進交付金の申請様式となっております。内容については、後ほどご覧いただきたいと思っております。6ページ目お開き願いたいと思っております。

6ページ目の真ん中辺に、交付対象事業の重要業績評価指数、KPIというのがあります。こちらについて説明をさせていただきます。

業績評価指数につきましては、こちらにも2本の指標を持ってございます。1つ目は、観光入込客数ということで、平成27年度の実績が1,234,000人となっております。これを3か年で1,342,000人に増加させたいと考えております。もう1つの指標については、スイートロード協議会の主催事業の参加人数となっております。こちらにも、平成27年度の実績で1,335人となっておりますが、3か年後には1,800人にしたいと考えております。事業の概要は、以上となります。よろしくお願いたします。

**委員長：** はい。『ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興』ということで、既存のスイートロード協議会を有意義に使って、その事業の展開を拡大する。そういった内容であったかと思っております。

只今のご説明あった、スイートロードの関係、何かご質問、ご意見ありますか？

(各委員からの発言なし)

いかがでしょうか？

(経済部長挙手)はい、どうぞ。

**経済部長：** 質問・意見ではありません。この場を借りて、一言お願をしたいと思っております。今回、経済部から新規事業を挙げさせていただいております。特に、

雇用創出と観光振興につままして、これまで以上に推進したいと考えております。委員各位、各団体のご協力をいただきながら、ご意見をいただきながら、参加していただきながら、連携して進めて参りたいと考えておりますので、どうぞご協力の程よろしくお願ひいたします。

**委員長：** はい。(経済)部長から、表明がありました。経済部とか商工観光課、大変ハードになろうかなと思ひますが、スイートロード協議会のほうも来年度は、忙しくなるかなという気がしてござひます。この地方創生に絡めた事業という形で、食ひ込むのは効率的かなという感じがしみます。

皆さんから、ご質問、ご意見ありますか？

(委員挙手)はい。

**委員：** 観光協会としての地方創生の交付金の新規事業につまましては、あくまで下支えということで、いいのですか？

観光協会のような仕事を市でやっていただけるといふようなことなのですけども、立ち位置といふか、連携しながら我々はどうすればよいのか？

スイートロード協議会の一員なのですけど、その辺の立ち位置といふか…。

あまりにも大きな、観光協会が行うような事業だから…私もよく理解してない。

今日、初めてこれを見たので…。スイートロードの金、どこから出るのかなといふ感じもあつたのですが、これで分かつたので。応援すれば、協力すればよいといふことでそれでよろしいのですか？立ち位置は？

**説明員：** もちろんですね、観光協会さんは観光に関わることですので、よろしくご協力、ご支援いただきたいと思ひますし、スイートロード協議会の中にも、もちろん、メンバーとして入つていただけておりますので、一緒に活動できるところは、一緒に活動していただき、また、いろいろな面で観光振興に関わつて、例えば、今日、ホームページもリニューアルされましたけども、そういうところでPRいただくとか、いろいろな形で双方連携を取りながら、進めさせていただければ大変ありがたいかなといふふうと考えております。

**委員長：** まあ、具体的に動いてみないと、商工会議所としても、実際に動いた中で会議所にどういふ役割があるのか、広域的な観光振興といふのが動こうとしておりますので、そちらのほうも会議所が関わつていったりするので、そこから、新たな動きが見えるのかなと思つていて、今、「こうだ」といふはつきりとしたものは、見えないのですが、気持ちは分かりますので。

**説明員：** そういう意味で、先ほどの事業内容にもあつたように、観光コンセプトを

策定したいなど。そういう部分で、もちろん、観光協会さんや商工会議所、いろんな方の意見、いろんなものを組み入れて、今後の方策みたいなものを更に深めていきたいというふうに考えていますので、そういう部分でも、またご協力いただきたいなど考えております。

**委員長：** 内容は、一枚岩になってやりましょうという感じなので、基本的には、そういう方向、意思で動いていくような形で進行を検証するということですね。  
ほかに、何かございませんか？ J Cさんから、何かありませんか？

**委員：** インバウンド観光など、連携をとっていきたいと思っています。以上です。

**委員長：** 昨年、インバウンドをやっていましたけど、若い人は貴重だと思います。  
他に、ございませんか？なければイの『ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興』の事業ということで、このような形で進めるということで、皆さんよろしいですか？

**各委員：** なし（または、頷く）

**委員長：** はい。それではご了解を得たという形で、『ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興について』は進めていただきます。  
続いて、協議事項のウです。『「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画変更について』ということで、これは、事務局からお願いします。

## ウ 「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画変更について

**事務局：** はい。それでは、私の方から説明をさせていただきます。資料の5をご覧ください。

こちらに、「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画変更概要ということが書いてございます。それから、カラー版のページ3ページからになりますけど、2部構成になっておりますけど、これを見比べながら、ご覧いただければというふうに思います。

まず、「1変更の趣旨」でございます。平成29年度の地方創生推進交付金というものに、今ほど説明させていただきました2事業、『ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業』、『ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興』ということで、この事業を追加するということがございます。それが(2)の方に記載しているものでございまして、これに加えて、平成27年度に地方創生推進交付金の前身の交付金事業になります地方創生加速化交付金というものがございます。実際の実施は、平成28年度ですけども、これの『地域資源を核

とした情報発信による観光客誘致事業』ということで、これが、今ほど、商工労働観光課長のほうからも説明のあった観光協会のホームページのリニューアルの部分とかの事業でございます。それから、中空知の定住自立圏というものがあまして、中空知広域5市5町で定住自立圏というものを構成していきまして、滝川市と砂川市が中心市というふうな格好になっているのですけども、その自立圏でしている『しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援事業』という2事業を追加して、合計4事業を総合戦略の中に変更として盛り込みたいという趣旨でございます。

具体的な中身につきましては、カラー版のこちらの3ページ以降でご説明させていただきます。

こちらは、お手元の方に、こちら冊子がいつているかと思ひます。総合戦略の冊子でございます。これの部分で変わる部分を中心にまとめたのが、このカラー版の資料ということになります。

3ページをご覧ください。まず、変更する部分でございます。

こちらの(2)に「人材育成・雇用対策」というのがあまして、その下の6)というものがござひます。その今までは、「地元企業と連携したキャリア教育の実施」というものを、地方創生推進交付金の事業であります、ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進と推進事業と整合性をとらせるということで、このような記載に変更したいということでござひます。その下、「・」以降の記載につきましても、ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進ということの変更で考えております。

その下の四角囲み、「具体的な事業」及び「重要業績評価指標(KPI)」がありまして、その一番上の「ジョブスタート事業」というものがござひまして、この下に『ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業』というのがありますが、この中に、この内容を集約した形にしますので、ジョブスタート事業は削除する格好になります。

1枚めくっていただきまして、4ページ目をお開きください。こちらは基本目標2のほうでござひまして、その四角囲みになります。「具体的な事業」ということで、『地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業』が赤書きでござひます。この部分については、地方創生加速化交付金の事業、これの事業の追加という意味でござひます。記載している内容につきましては、申請している計画書からの内容を反映させたものです。KPI、重要業績評価指標も同様に、その計画から反映させたものでござひます。

1枚めくっていただきまして、5ページ目、『ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興』ということで、こちら赤書きで掲載しております。こちらは、地方創生推進交付金のほうの事業でござひまして、その計画の事業概要それから、その計画に記載しておりますKPI、数値目標ですね。それを記載しております。それまで実施していた事業もこの中に集約するというので、それらのKPI、それから事業概要についてもこの中に集約しているという形になっております。

このような形で修正を加えていきたいと考えているところであります。

1枚めくっていただきまして、6ページ目、基本目標の4でございますが、この「(3)広域連携による経済・生活圏の形成」という部分の「具体的な事業」の四角囲みの赤書きの部分、これが先ほど申し上げました、定住自立圏の事業でございます。この事業を申請した計画に基づいて反映させたものを追加していきたいという形で総合戦略を変更していきたいと考えているところでございます。以上、計画変更についての概要説明とさせていただきます。

**委員長：** はい。4つの新しい事業というか動きがあった。それが採択されたということで、総合戦略の中へ反映させるという形での変更でございます。

特に、みなさまからご質問はありますか？

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** ないですね。事業が採択されたのですから、事務的修正になろうかとは思いますが。

では、そのような形で進めることとしたいと思っておりますので、ご了解をお願いしたいと思います。

それでは、次に参ります。エの「地域再生計画及び地方創生推進交付金について」ということで議題が出てございます。事務局から説明願います。

## **エ 地域再生計画及び地方創生推進交付金について**

**事務局：** はい。それでは、資料の6をご覧ください。地方創生推進交付金とは何かという部分でご承知おきしておいていただきたいことということで資料作成いたしました。

地方創生推進交付金事業につきましては、この1ページに書いてありますとおり、地域再生制度に基づく、法律に基づく、制度でございます。地方創生推進交付金を実施するためには、今ほど、変更の説明をさせていただきましたけども、これに盛り込まれていること、更には、この地域再生計画の認定を受ける必要があるということでございまして、これが認定されましたら、実際の地方創生推進交付金の支援が受けられるという格好になっているものであることから、今回、地域再生計画というものを提出して参りたいというところでございます。

1枚めくっていただきまして、2ページ目をご覧ください。こちらが地方創生推進交付金の概要でございます。

事業概要・目的は、このように記載しておりまして、今ほど説明させていただきます。

ました「地方版総合戦略に基づく」と書いてありますが、こちらが、「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のことをございまして、これに盛り込まれていること等々の事業目的が書いてありまして、更に、どういった事業が対象になるのかというのが右側に書いてありまして、「先駆性のある取組」であつたりとか、それから、優良事例が全国各地の自治体で実施されておりますので、それを取り込んだ事業、既存事業の隘路、壁にぶち当たっているような事業、その課題を打開するための事業が対象となつておりまして、国から、この事業が採択されますと、1/2の交付金が受けられるということになっていまして、残りの1/2の自治体の負担分につきましては、地方財政措置が講じられるというような中身になってございまして。これらを平成29年度の地方創生推進交付金に申請をしているところでございまして、地域再生計画につきましても、本日の議論を踏まえまして、4月に申請をしていきたいというふうに考えているところでございまして。

その実際の実案が、資料7になってございまして、資料7をご覧ください。地域再生計画につきましても、今ほど、商工労働観光課のほうから説明をさせていただきまして『ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業』それから、『ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興』この2つの事業をそれぞれ、個別に計画を立てているという仕組みになってございまして。

その計画の中身につきましては、商工労働観光課のほうから説明をさせていただきまして資料の4と5のA3の大きな資料があつたかと思うのですが、こちらの内容を集約した内容がこちらの地域再生計画の内容になってございまして、内容の説明は、さきほど説明させていただいた事業概要のとおりでございまして、割愛します。以上、説明に代えます。

**委員長：** はい。ありがとうございます。こういった形で申請していくということになるのだらうと思ひます。

いまの説明で何か分からないことがありましたらいかがですか？

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** 大丈夫ですか？全体をとおして、何かご意見があればお伺ひしたいと思ひますがいかがですか？

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** ございませぬか？ないようであれば、協議事項については終わらせていただきまして、6番の「その他」に入ります。

事務局から、何かありますか？



## 6 その他

**事務局：** 特にございません。

**委員長：** できれば、今回の要望で、資料が結構難しい資料が出てくるので、読み込みにかなり時間がかかると思うので、当日とかとなると結構キツイと思います。

次回は、連休明けくらいに予定していると思うのですが、なるべく早く資料を整えて、委員の皆さんにお目通しいただけるような形で用意していただければと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、ないようですので、今年は第1回目ということですが、次回は平成28年度の評価という形で行われますので、皆さんのまた建設的なご意見をお願いしたいと思います。

それでは、以上で平成28年度第1回総合戦略推進委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。